

磐田を 知りたい！調べたい！（小・中学生向け）

磐田の大念仏

磐田市を含む遠州西部地区は、初盆供養が盛んな地域です。その供養の一つに、「念仏組」が初盆の家を回り亡くなった人の霊をなぐさめる「大念仏」があります。「大念仏」について調べましょう。

遠州大念仏

「遠州大念仏」は、「念仏組」が初盆を迎えた家に招かれて、庭先で念仏踊りをして亡くなった人を供養するものです。「念仏組」は集落単位でつくり、30名から50名の一団が笛・双盤（鉦を2つ向かい合わせたもの）の音にあわせ、踊るように太鼓を打ち鳴らし、歌い手が念仏を唱和します。

「遠州大念仏」の始まりについては、元亀3（1572）年12月に武田信玄と徳川家康が戦った「三方原の戦い」で亡くなった人を供養したという言い伝えがあります。戦いの後、疫病や害虫が広がったため、家康が三河（愛知県東部）の僧に命じて大念仏をさせたといわれます。それ以前から行われていた雨ごいや虫送りの風習と念仏による先祖の供養がひとつになって、江戸時代には、遠州各地で大念仏が盆行事として盛んになりました。しかし、それとともに組同士が争いを起こすこともあり、禁止令や取締令が出されました。明治時代には盆供養を質素にするよう県からの命令が出ました。その後も太平洋戦争による中断などがありました。昭和5（1930）年に「遠州大念仏保存会」が結成され、現在では「遠州大念仏」は全国的に知られるようになりました。豊岡地区の大念仏がいつどこから伝わり、どのような理由で始まったのか詳しいことはわかりませんが、大平の浅岡家に残る古文書には、天明8（1788）年に出た大念仏禁止令のことが書かれており、天明年間（1781～1789年）には、大平に大念仏が伝わっていたことがわかります。現在、豊岡地区には「上神増組」、「菅貫地組」、「合代島組」、「三家組」、「松之木嶋組」（地区名は松之木島）、「大楽地組」、「大平組」の7組の「念仏組」があります。「遠州大念仏保存会」に所属し、それぞれ特徴ある大念仏を伝えています。

遠州大念仏について調べるには

- ・『豊岡村史 通史編』p. 1052～1056（全館）
- ・『豊岡村百話』p. 289～291（全館）・『日本の祭り』③中部編 p. 69（中央）
- ・DVD「豊岡地区の遠州大念仏」〔大平組〕〔菅貫地組〕〔松之木嶋組〕〔合代島組〕（全館）
〔大楽地組〕〔上神増組〕〔三家組〕（中央・福田・竜洋・豊岡）
- ・DVD「豊岡地区伝承の遠州大念仏」（中央・福田・竜洋・豊岡）
- ・<http://www.enshu-dainenbutu.com> 「遠州大念仏保存会」ホームページ
- ・<http://www.city.iwata.shizuoka.jp/midokoro/bunnkazai> 磐田市ホームページ

か も 加茂大念仏 磐田市指定無形民俗文化財

豊田地区の加茂に伝わる加茂大念仏の起源については、万延年間（1860～61年）生まれの人が念仏の際に太鼓を打ったと伝えられていますので、これより以前に始まったとわかります。豊田地区加茂の初盆の家々へ供養に回ります。さらに徳川家康の家臣平野重定公への供養や、その墓がある大円寺の施餓鬼（生きていた時に悪い行いをしたため、亡くなってからも飢えや乾きに苦しむ魂への供養）などを行います。



【磐田市ホームページより】

加茂大念仏について調べるには

- ・『豊田町誌 別編Ⅱ 民俗文化史』p. 473～507（中央・竜洋・豊田・豊岡）
- ・『磐田ふるさと歳時記』p. 22（中央・福田・竜洋・豊田）
- ・『ふるさと豊田写真集』p. 149（全館）
- ・「いわた文化財だより」第30号（全館） 磐田市ホームページでも見られます

と こども 飛び念仏・子供念仏

磐田市域には大念仏のほか「飛び念仏」や「子供念仏」なども伝わっています。「飛び念仏」は双盤がなく飛び上がって太鼓を打つ念仏踊りで、磐田地区の向笠や明ヶ島に伝わっています。「子供念仏」は傘鉾と呼ばれる赤い布を垂らした大きな唐傘を先頭に、初盆の家に訪れた子どもたちが祭壇に向かい整列し、そろって念仏を唱えるものです。豊岡地区の敷地の2グループ（敷上と敷南）と下神増・三家合同の子ども会が行っています。



敷南子供年仏

【磐田市ホームページより】

飛び念仏・子供念仏について調べるには

- ・「いわた文化財だより」第136号（全館） 磐田市ホームページでも見られます
- ・DVD「豊岡地区伝承の遠州大念仏」付録解説書（中央・福田・竜洋・豊岡）
- ・『天竜川流域の暮らしと文化』下巻 p. 320（全館）
- ・『豊岡村史 通史編』p. 1052～1056（全館）
- ・『豊岡村百話』p. 289～291（全館）
- ・『ふるさとの土』（中央・豊岡）



子供念仏の傘鉾

【磐田市ホームページより】